



2025年11月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月8日

上場会社名 note株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5243 URL https://note.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 加藤 貞顕
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 鹿島 幸裕（TEL）050(1751)2329
 半期報告書提出予定日 2025年7月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年12月1日～2025年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	1,970	22.0	51	93.6	23	95.7	35	126.2	70	405.1
2024年11月期中間期	1,616	—	26	—	12	—	15	—	14	—

（注）包括利益 2025年11月期中間期 105百万円（650.3%） 2024年11月期中間期 14百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	4.39	4.20
2024年11月期中間期	0.92	0.90

（注）1. 2024年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年11月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。

2. 調整後EBITDA=営業利益+減価償却費+株式報酬費用+その他一時費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	4,881	2,427	48.9
2024年11月期	3,769	1,722	45.2

（参考）自己資本 2025年11月期中間期 2,386百万円 2024年11月期 1,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期	—	0.00	—	—	—
2025年11月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,010	21.1	60	13.5	80	6.4	110	11.2	6.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期中間期	16,613,300株	2024年11月期	15,390,500株
② 期末自己株式数	2025年11月期中間期	123株	2024年11月期	123株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年11月期中間期	16,173,765株	2024年11月期中間期	15,343,421株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2025年7月8日（火）に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間においては、世界的な資源価格の高騰や不安定な為替の動向、商品・サービスの値上げによる物価高等により依然先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする。」をミッションに掲げ、インターネット上にクリエイター・メディア・ファンをつなぐエコシステムを構築することを目指しています。クリエイターがユーザーとコミュニケーションをとりながらデジタルコンテンツを創作・公開・販売できるプラットフォーム「note」を中心とするメディアプラットフォーム事業を展開しているほか、2024年5月にTales & Co. 株式会社を設立し、IP・コンテンツクリエイション事業を展開しております。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は1,970,898千円(前年同期比22.0%増)となりました。また、営業利益は23,667千円(前年同期比95.7%増)、経常利益は35,744千円(前年同期比126.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は70,931千円(前年同期比405.1%増)となりました。

報告セグメントにつきましては、メディアプラットフォーム事業及びIP・コンテンツクリエイション事業の2つを報告セグメントとしております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、当社グループは、従来「メディアプラットフォーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、2024年5月にTales & Co. 株式会社を連結子会社化し、同社を「IP・コンテンツクリエイション事業」に区分したことに伴い、前連結会計年度末より「メディアプラットフォーム事業」及び「IP・コンテンツクリエイション事業」の2区分に変更しております。そのため、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(メディアプラットフォーム事業)

メディアプラットフォーム事業では、CtoCメディアプラットフォーム「note」の運営、法人向け情報発信メディアSaaS「note pro」の運営、「note」上での企業協賛型コンテストの実施等を中心とした法人向けサービスに取り組んでおります。

「note」については、継続的な機能改善によってプラットフォームに集まるユーザー・コンテンツが順調に増加しており、2025年5月末時点で会員登録者数は995万人、公開コンテンツ数は5,898万件となりました。当第2四半期連結会計期間における流通総額は5,205百万円(前年同期比24.7%増)となり、引き続き高水準で推移しています。「note pro」については、noteのサービス成長に伴う企業からの認知度向上により引き続き利用企業は増加しており、2025年5月末時点でARR(注)1は612百万円(前年同期比21.3%増)となりました。法人向けサービス事業については、「note」のユーザー数増加などにより、「noteコンテスト」案件が堅調に推移しております。

そのほか、「note」に投稿される市場や企業の理解に役立つ記事を集めた金融・投資情報のサイト「noteマネー」を2025年3月にリリース、当社と子会社のTales & Co. 株式会社が共同で運営する物語投稿サイト「Tales」を2025年4月にリリースするなど、新サービスの提供も開始いたしました。

この結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は1,934,714千円(前年同期比19.7%増)となりました。その内訳は、note売上高1,577,375千円(前年同期比19.3%増)、note pro売上高304,966千円(前年同期比22.7%増)、法人向けサービス売上高40,704千円(前年同期比8.7%増)、その他売上高11,667千円です(前年同期比45.5%増)。また、セグメント利益は53,205千円(前年同期比53.3%増)となりました。

(注) 1. ARR=Annual Recurring Revenueは、各四半期末月のMRR^{(注)2}を12倍したものの。

2. MRR=Monthly Recurring Revenueは、月次経常収益。MRRには、note proの基本料金に加え、一部オプション料金も含む。

(IP・コンテンツクリエイション事業)

IP・コンテンツクリエイション事業では、クリエイターの企画や作品のエージェント、コンテンツ制作・販売、外部企業からの企画・コンテンツ制作受託などに取り組んでおります。

この結果、IP・コンテンツクリエイション事業の売上高は38,809千円(前年同期はなし)、セグメント損失は4,281千円(前年同期は435千円のセグメント損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末と比較して1,112,728千円増加し、4,881,880千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して327,330千円増加し、3,998,766千円となりました。これは主に、現金及び預金が124,346千円減少した一方で、未収入金が347,793千円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して785,397千円増加し、883,113千円となりました。これは主に、投資有価証券が759,930千円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して407,002千円増加し、2,453,990千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して407,002千円増加し、2,453,990千円となりました。これは主に預り金が362,217千円増加したこと等によるものです。

固定負債は、ありません。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して705,725千円増加し、2,427,889千円となりました。これは主に、資本剰余金が253,948千円増加、利益剰余金が377,990千円増加したこと等によるものです。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,042,521千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、19,425千円となりました。これは主に、「note」の流通総額の伸長などによる売上債権の増加額52,086千円並びに未収入金の増加額347,793千円により資金が減少した一方で、税金等調整前中間純利益が35,744千円、クリエイター向けの預り金が増加したことなどによる預り金増加額362,217千円により資金が増加したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、718,228千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出708,070千円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は、575,266千円となりました。これは主に、株式の発行による収入497,323千円などによります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の連結業績予想につきましては、2025年1月14日に公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,154,912	2,030,565
売掛金	195,711	247,797
商品及び製品	830	1,492
仕掛品	612	52
未収入金	1,209,473	1,557,266
その他	109,895	161,590
流動資産合計	3,671,436	3,998,766
固定資産		
有形固定資産	10,311	6,889
投資その他の資産		
投資有価証券	—	759,930
その他	87,404	116,293
投資その他の資産合計	87,404	876,223
固定資産合計	97,715	883,113
資産合計	3,769,151	4,881,880
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,474	6,608
1年内返済予定の長期借入金	80,000	80,000
未払法人税等	3,804	1,467
預り金	1,577,858	1,940,075
その他	381,850	425,839
流動負債合計	2,046,987	2,453,990
負債合計	2,046,987	2,453,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,964	48,268
資本剰余金	1,987,652	2,241,601
利益剰余金	△315,903	62,086
自己株式	△69	△69
株主資本合計	1,702,643	2,351,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	34,435
その他の包括利益累計額合計	—	34,435
新株予約権	19,520	41,568
純資産合計	1,722,164	2,427,889
負債純資産合計	3,769,151	4,881,880

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,616,109	1,970,898
売上原価	91,070	119,426
売上総利益	1,525,038	1,851,472
販売費及び一般管理費	1,512,947	1,827,804
営業利益	12,091	23,667
営業外収益		
受取利息	8	862
為替差益	—	7,198
違約金収入	11,717	6,228
その他	2,340	1,010
営業外収益合計	14,065	15,299
営業外費用		
支払利息	506	178
株式交付費	137	3,044
為替差損	8,462	—
その他	1,248	—
営業外費用合計	10,355	3,223
経常利益	15,801	35,744
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前中間純利益	15,801	35,744
法人税、住民税及び事業税	1,758	1,469
法人税等調整額	—	△36,657
法人税等合計	1,758	△35,187
中間純利益	14,042	70,931
親会社株主に帰属する中間純利益	14,042	70,931

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
中間純利益	14,042	70,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	34,435
その他の包括利益合計	—	34,435
中間包括利益	14,042	105,366
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	14,042	105,366

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	15,801	35,744
減価償却費	4,604	3,421
固定資産除却損	—	0
受取利息	△8	△862
支払利息	506	178
株式報酬費用	10,084	22,047
売上債権の増減額(△は増加)	△7,947	△52,086
棚卸資産の増減額(△は増加)	△50	△101
仕入債務の増減額(△は減少)	△663	3,133
未収入金の増減額(△は増加)	△181,923	△347,793
契約負債の増減額(△は減少)	29,174	47,265
預り金の増減額(△は減少)	239,322	362,217
その他	△38,023	△50,512
小計	70,876	22,652
利息の受取額	8	862
利息の支払額	△506	△178
法人税等の支払額	△2,496	△3,936
法人税等の還付額	2	25
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,885	19,425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△961	—
投資有価証券の取得による支出	—	△708,070
敷金及び保証金の差入による支出	—	△10,158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△961	△718,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△80,000	—
株式の発行による収入	—	497,323
新株予約権の行使による株式の発行による収入	36,766	77,942
自己株式の取得による支出	△69	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43,303	575,266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,620	△123,536
現金及び現金同等物の期首残高	1,988,208	2,166,058
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,011,828	2,042,521

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年1月29日付で、Google International LLCから第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ249,986千円増加しております。

また、2025年2月24日開催の第13期定時株主総会決議により、2025年4月2日付で、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金を271,851千円減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を307,058千円減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補を実施しております。

さらに、ストック・オプションの行使による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ39,168千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が48,268千円、資本剰余金が2,241,601千円、利益剰余金が62,086千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラットフォーム フォーム事業	IP・コンテンツ クリエイション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,616,109	—	1,616,109	—	1,616,109
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,616,109	—	1,616,109	—	1,616,109
セグメント利益又は損失 (△)	34,699	△435	34,263	△22,172	12,091

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用22,172千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	メディア プラットフォーム フォーム事業	IP・コンテンツ クリエイション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,934,714	36,184	1,970,898	—	1,970,898
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,625	2,625	△2,625	—
計	1,934,714	38,809	1,973,523	△2,625	1,970,898
セグメント利益又は損失 (△)	53,205	△4,281	48,923	△25,256	23,667

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、報告セグメントに配分していない全社費用25,256千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「メディアプラットフォーム事業」の単一セグメントとしておりましたが、前連結会計年度に新規設立したnote AI creative株式会社、Tales & Co. 株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、前第4四半期連結会計期間より「メディアプラットフォーム事業」及び「IP・コンテンツクリエイション事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をよりの確に管理することを目的に、従来「メディアプラットフォーム事業」に配分していた費用のうち一部については報告セグメントに帰属しない全社費用として「調整額」に含める方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。